

ウィズコロナ・ポストコロナの“新しいスタイル” 「Web」「リモート」取り組んでいます！



新型コロナウイルス感染症は、有田市の経済やわたしたちの生活に大きな影響を与えています。この状況を乗り切ろうと、市内の飲食業者の皆さんは早い段階でテイクアウトやデリバリーを開始。また、インターネットを使った事業に取り組み始めている方々、「リモート」や「在宅」をはじめとした新しい方法の日常を進めている方々もいらっしゃいます。教育現場や市行政においても新しいスタイルに取り組んでおり、今回はその一部をご紹介します。

■市の取り組み

市では、外部との会議や、市外から審査員を招いて行う審査会等をリモート形式で行ったり、記者発表をWeb会議システムを利用して行うなど、新しい手法に取り組んでいます。

また、市民サービスの向上及び業務の効率化を検証するためにWeb会議システム「Carriing」を運営する㈱ネオラボと官民協働の実証実験を行っています。

これまで、イベントや行事など、状況をみて中止してきたものも多々ありましたが、今後、実施方法を工夫して、3密を避けた新しい方法で進めていきます。



【写真説明】
⑤Web会議システム「Calling」を利用した就農相談
⑥Web会議システム「Zoom」を利用した記者発表



■市や市内各種団体でも、様々な活動に取り組んでいます。

動画を活用した 人権尊重地区別学習会

例年各地区で行っている地区別学習会ですが、今年度は人権の大切さを伝える動画をネット配信し、広く市民の皆さんにご覧いただけるようにする予定です。



内容、配信時期等詳細は追ってお伝えします。お楽しみに！

問 人権啓発係 Tel 22-3558

有田市原産地呼称管理制度の 説明動画を配信！

「有田市認定みかん」としてみかんを出荷したい方はぜひご覧ください。あわせて、ふるさと納税にみかんを出荷することについてや、有田市のみかん産業の現状と今後についての動画も配信しますので、ご興味のある方はご覧ください！



有田市HP

問 ふるさと創生室 Tel 22-3648

宮原地域交流協議会「宮原さん家」

今年3月にオープンした「宮原さん家」で人が集まるイベントなどが難しい中で、ネットラジオを使った発信に取り組んでいます。また、今年は運動会や夏祭りができない中で、少しでも子どもたちの思い出になるように、竹灯籠と一緒に作り、ライトアップするイベント企画を進めています。



↑ラジオ収録の様子



宮原さん家HP

※竹灯籠イベントは8/8～10を予定しています。

糸我地区青少年育成会「田んぼの学校」

毎年糸我小学校の皆さんと「田んぼの学校」を開催しています。今年はコロナの影響で、例年どおりの準備や開催が難しかったこともあり、ホームページ上で「Web学習」のページを作成しました。田植えの準備から放鳥、稲の成長の過程などを解説付きで分かりやすく発信しています。



糸我地区青少年育成会HP

わたしたちが田んぼを見守っています



■教育現場では…
3月2日～ 臨時休業
休校中の学力の保障、生活習慣の確保などを模索。
4月上旬～
各学校にて家庭におけるICT環境の調査。貸出の場合に備えて準備。
4月13日～ 分散登校開始
5月中旬～
保田中学校で、分散登校のない日にオンラインホームルームを実施(写真①)
※今後、オンライン授業についての研究会、教員同士でシミュレーションの実施を予定しています。



箕島小学校6年松組では、社会福祉協議会と連携して、普段から交流のあるひまわりケアサービスさんとWeb会議システム「Zoom」アプリをつないでデイスカッションを実施。最初は緊張していましたが、途中からはお互い笑顔もほれました。(写真②)
児童からは、行事やイベントが中止になっていることに触れ、「僕たちが一緒にできるイベントを企画する」という質問も出ていました。
なかなか会えない中でお互いの状況を知り、次のステップを考える良い機会となりました。



②



【写真説明】
③質問に答えるひまわりケアサービスの皆さん
④みんな真剣！（箕島小）



④

■コロナは マイナスばかりじゃない

「コロナはマイナスの面が多いですが、児童・生徒たちにとってはアイデアを出せる機会にもつながっています。中学校では、これまで当たり前でできていた体育大会や文化祭などの学校行事が「ふつう」にできない状況で、自分たちに何ができるのか、どのように工夫すればよいか、生徒会が中心となって考えを出し合っています。
生徒の皆さんは未来の社会を作っていくアイデアを生み出す力、教科書からだけではない学びを得てくれていると思っています。マイナスをプラスのサイクルに変えていくように、教育現場でもインターネットやリモートを使い積極的に取り組んでいます。(市教育委員会)

■トピックス(ほっこり動画)

社会福祉協議会では、市内7保育所の児童と一緒に、施設に入所されている高齢者の方に向けた「ほっこり動画」を作成しました。感染防止のため、施設では面会できない状態が続いていましたが、動画を通して少しでも「ほっこり」してもらえたらと企画されました。

子どもたちは、この日のために練習してきた歌や、メッセージを元気いっぱい披露しました。8月より随時施設にお届けされます。

問 社会福祉協議会 Tel 88-2750
※ネットワーク会議に参画している市内施設が対象



⑦みんなで声をあわせて(宮崎町保育所)
⑧撮った動画をみんなで確認(そとはま保育所)
⑨大きな声で(古江見保育所)



⑧



⑨